



五輪の峰

118号

平成23年

5月30日

発行

広島県立加計高等学校

ホームページでもご覧になれます。
<http://www.kakei-h.hiroshima-c.ed.jp>

校訓 ~「誠実」「自主」「気魄」~

~離任式~

お世話になりました

4月8日(金)に離任式が行われました。平成22年度末の人事異動で、佐古登教頭先生、英語科の原田誠司先生、数学科の佐々木精一先生、家庭科の保本泉先生が加計高校を後にされました。



佐古 登 教頭先生

旧体育館での着任式に始まり、新体育館での離任式までの3年間の加計高校での掛け替えのない日々は私にとって、教頭としての初舞台となり私自身の人生に新たな一幕を与えてくれました。神楽の舞手のような華やかな存在ではありませんでしたが、強弱をつけながら打ち鳴らされる太鼓のもとで、情景を浮かび上がらせる笛のような役割を果たさせていただいたのではないかと考えています。舞手である生徒の皆さんが先生方とともに奏でる楽に合わせて演じ、観客であるPTAや地域の皆さんから惜しみない応援をいただいたことで、見事な神楽を創り上げることができたと思っています。これからも加計高校が益々の発展を遂げられることを心から祈っています。

佐々木 精一 先生(数学科)

離任式では、素敵なメッセージと花束をありがとうございました。みんなとはいろいろな思い出があります。執行部で取り組んだ200人分の猪豚汁作りでは、見たこともないような量の野菜や肉をみんなで協力して切りました。数学では、何人かの人と放課後、自主的?強制的?に残ってひたすら問題を解き、覚えしました。そして陸上部、素人の選手と監督が知恵を出し合い、いろいろなメニューを考えました。結果として、念願だった県大会に3年連続で出場することができ、今年出場できれば4年連続、来年出場できれば5年連続で県大会出場になります。期待していますよ。最後に加計高校生の皆さんへ。「進級・卒業を目標にするのではなく、卒業後の自分をイメージして楽しいスクールライフを送ってください。」

原田 誠司 先生(英語科)

みなさんこんにちは。このたびの人事異動で広島工業高校に転勤になりました。

「若さというものは、美しいものを求めるものです。バラにトゲがあるように、美しいものにはトゲがあって、若者はそれを求める過程で傷ついてしまいます。しかし、若いということは、その傷をすぐに癒やし、立ち直る力を持っているということでもあるのです。」私は、高校時代に聞いたこの言葉をよく覚えています。

加計高校の生徒には、文化祭・体育祭などの行事では、一人何役もこなすことができる潜在能力があります。その力を是非、自分の進路目標実現に向けても発揮してほしいと思っています。

保本 泉 先生(家庭科)

先日は、春だというのに冬に舞い戻ったかのように寒い日がありました。みなさまには、お変わりなくお過ごしと思います。

さて、私は、1年間という短い間でしたが加計高校でお世話になりました。高校での学校生活は初めてで、職員の皆様、生徒の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。その中で新しい出会いや出来事、楽しかったこと、思うように進まなかった授業など、たくさん思い出ができました。ありがとうございました。それらをこれからの糧にし、また新しい職場で頑張っていきたいと思っています。少し離れた大朝の地より加計高校の皆様のご活躍をお祈りしています。

新任の先生方



教頭
前田 理(おさむ)先生



数学科
福川 真紀先生



外国語科(英語)
殿重 直子先生



芸術科(音楽)
古川 裕貴先生

<p>広島商業高等学校から赴任いたしました前田です。 加計高等学校は熱心な先生がおられ、自然環境が良く、施設・設備が整っているだけでなく、町や同窓会からの支援をいただくなど非常に教育環境に恵まれた学校だと実感しています。これまでの伝統を継承しつつ新たなものを創造できるよう尽力するつもりですのでよろしくお祈りします。</p>	<p>3年間の育休から復帰しました数学科の福川です。3年間不在の間に、知っている生徒は卒業し体育館も建て替わり以前とは違う学校に赴任した気分ですが、以前と変わらない人懐っこい生徒と共に頑張っていきたいと思います。</p>	<p>この春、転勤して参りました殿重です。加計高校の印象は、クラブ活動をはじめとし、生徒会活動が盛んだということです。小さい学校ですので、一人一人が全体に還元できる力は大きいということを実感し、頑張っていきたいです。</p>	<p>この3月に大学を卒業して、加計高校と芸北分校と千代田高校で音楽を担当する古川裕貴です。毎日学校にいないのでまだわからないこともありますが一生懸命頑張りますのでよろしくお祈りします。好きな言葉は「念願は人格を決定す、継続は力なり」です！休みの日は音楽活動してます</p>
--	--	--	---

山県郡高校生による神楽フォーラム



神楽フォーラムで八岐大蛇を披露する加計高芸北分校の生徒

中国新聞

小規模3高校 神楽通じ交流

安芸太田町の加計高と北広島町の千代田高、加計高芸北分校の山県郡3高校は25日、北広島町の千代田開発センターで神楽フォーラムを開いた。本年度から取り組む県教委の小規模校連携事業の一環で、地域に息づく神楽をテーマに、各校の活動を報告し、

北広島でフォーラム

伝統芸能の継承に向けて意見を出し合った。生徒数は加計高96人、千代田高176人、芸北分校80人。千代田高は1学年2つの学級、他の2校は同一学級となっている。フォーラムには3校の全生徒が参加した。各校には神楽部や神楽愛好会があり、地域の神楽団で活躍する生徒も多い。加計高は文化祭での神楽上演の様子を映像で紹介。千代田高は町内外での出演予定などを伝えた。芸北分校は大蛇2頭を登場させ、「八岐大蛇」の一部を上演。神楽部部長の村竹慎也さん(17)は「神楽を舞うことができる環境に感謝し、見る人に感動を与えたい。将来は神楽団に入り地域に貢献する」と決意を述べた。県神楽鑑賞大会の栗栖貞文副会長(62)による神楽の歴史に関する講演もあった。3校は本年度、夏休み中の合同学習セミナーの開催や部活動の合同練習などの連携を進める予定である。(胡千洋)

5月25日(水)、千代田開発センターにおいて、千代田高校、加計高校本校、芸北分校の3校による「山県郡高校生による神楽フォーラム」が行われました。これは「小規模校県立校間の連携推進事業」の一環として3校が合同して開催したものです。各校が神楽の活動などを紹介した後、広島県神楽競技大会副会長の栗栖貞文氏による神楽の歴史の講演会が行われました。生徒たちは地域の伝統文化である神楽を通じ交流を深めるとともに地域文化の継承発展に貢献しようという思いを新たにしたことでしょう。神楽フォーラムの様子は5月26日付の中国新聞朝刊にも紹介されました。

6月の予定

- 1日(水) 生徒朝会
- 3日(金) 道徳教育
- 4日(土) 進研模試・一般常識テスト(3年) かえるまつり(軽音部)
- 8日(水) 「未来のパパママ育成事業」出前講座
- 16日(木) 校外清掃活動(加計小学校・山県警察署合同)
- 17日(金) 進路説明会・講演会
- 21日(火) 生徒会執行部役員選挙告示
- 23日(木) 教育相談(スクールカウンセラー 坂本真理子先生 14:00~18:00)
- 25日(土) 薬物乱用防止キャンペーン(サンシャイン加計)

